

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市陸上競技場	
2 指定管理者	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 217,299人(前年度比 159.4%) 令和3年度 136,305人 令和2年度 68,367人	
	《事業》 ・スポーツ施設の運営管理 ・スポーツ振興にかかるスポーツ教室・イベントの開催	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 52,636千円 (43,364千円) ・ その他市が負担した費用 14,555千円 (21,966千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 257千円 (3,507千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・スポーツ施設利用者アンケートを実施(令和4年10月11日～令和4年10月31日) ・施設主催事業参加者へのアンケートを実施 ・施設利用及び運営管理に係る関係団体との会議等の実施(市陸上競技協会や楽天球団等)	

二 管理運営に係る評価(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた運営方針が確立されており、職員の理解のもとに、施設運営が行われている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されている。 また、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。	23/23
IV サービスの質の向上	職員に対する各種研修を行い、利用者が気持ちよく施設を利用できるような努力をしており、令和4年度に実施した利用者アンケートでは、概ね満足していただいている結果を得ている。 自主事業の参加者用にオンラインでの受付・決済システムを導入しており、利便性の向上に大きく寄与している。	29/28
V 施設固有の基準	新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら、様々なスポーツ教室等の自主事業を実施し、市民のスポーツ振興に寄与している。 指定管理者の負担によるトレーニング室やフィットネスルームの設置は、利用者にとって利便性が増し、施設の効用を増大させる先進的な取り組みであると言える。	3/2

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団）による自己評価》
<p>【施設運営】陸上競技場やテニスコート等の有料施設だけでなく、公園施設についても、誰もが使いやすく安全で安心にご利用できるよう点検や整備に努めました。また、隣接する楽天モバイルパーク宮城の管理者や宮城野区地域関係者等とも日頃から意見交換の機会を設けることで施設管理運営に係る情報の収集や発信を行い、その場で出た意見や要望、課題は双方で共有するとともに対応策等の検討も行いました。</p> <p>【施設の維持保全】日常点検、定期点検等により早期での不具合箇所の発見、及び修繕等に努めました。利用者アンケートや利用者との意見交換等が出されたご意見も参考にしながら、施設設備の維持管理を行いました。リレーバトンの交換や非常照明設備の交換、競技場内トラックのフィニッシュラインへの照明設備設置、さらには公園エリアの支障木伐採や剪定を行う等、より安全で快適に利用できる環境づくりを行いました。</p> <p>【自主事業】東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシー事業として、パラ陸上競技の体験会「宮城野原スポーツデー」を開催しました。障がい者と健常者による車いすリレー競技やスタートランプ装置を使ったトラック競技など、インクルーシブスポーツを楽しんでいただきました。新設した「小学生運動あそび」では、競技場の屋内・屋外施設をフル活用することで施設を有効利用し、子ども達に楽しく運動する場を提供できました。また、インターネットによる受付・支払いシステムを導入し、スポーツ教室等参加者の利便性向上を図りました。</p> <p>【情報発信】施設Webサイトのデザインを仙台市ウェブアクセシビリティに基づき改修するとともに、トップページにはTwitterのタイムラインを表示させることで内容を充実させました。また、施設の屋外壁面にインフォメーションボードを2基設置する等、情報発信力の向上を図りました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の設置目的に基づいた運営方針が明確に示されており、職員全体として質の高いサービスの提供と業務の効率化、経費節減に努めている。</p> <p>施設の運営管理体制については、職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されており、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。</p> <p>施設設備の維持管理については、建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。</p> <p>サービスの質の向上については、職員に対する各種研修を通じ、利用者が気持ちよく施設を利用できるよう努力をしているほか、自主事業の参加者用にオンラインでの受付・決済システムを導入しており、利便性の向上に大きく寄与している。</p> <p>自主事業等については、新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら、様々なスポーツ教室等の自主事業を実施し、市民のスポーツ振興に寄与している。パラ陸上団体等の団体や近隣中学校・高校と連携し、パラ陸上体験会・ユニバーサル記録会を実施するなど、地域と連携しながらスポーツ振興に取り組んでいる。また、指定管理者の負担によるトレーニング室やフィットネスルームの設置は、利用者にとって利便性が増し、施設の効用を増大させる先進的な取り組みであると見える。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課